

後期研修卒業生 藤井 悠花

(平成 27 年福井大学卒)

私は初期研修医から当院で研修を積んで参りました。当院での研修を希望した一番の理由は、「病院の雰囲気」です。熱心な先生ばかりで、手術や病棟管理など日常診療はもちろんのこと、学術活動にも積極的に取り組まれる姿が印象的で、当科での後期研修を決めました。

後期研修を振り返ってみると、朝早くから夜遅くまでの研修生活は大変でしたが、熱意ある指導医の先生方にご指導頂き、また優秀な同期と支え合いながら充実した研修を積むことができました。日常診療では、手術や病棟の管理を通して外科専門医取得に必要な症例の経験以上に、技術や患者様を治すという熱意を教わりました。また学術活動においても、全国学会での発表や論文の執筆といった貴重な機会も与えて頂きました。

レジデントが多いことも当院で研修する大きなメリットの一つだと考えています。人数が多いため、症例を取り合うことも多いですが、切磋琢磨できる仲間と一緒に研修できる環境は非常に刺激的だと思います。

是非、当院と一緒に修練を積み、外科医としての第一歩を踏み出しましょう。



～ 交通アクセス ～

【電車】

- JR 広島駅（山陽本線）方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約 12 分 紙屋町東下車
徒歩 約7分
- JR 横川駅（山陽本線）方面から
広島電鉄 7系統 約 13 分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

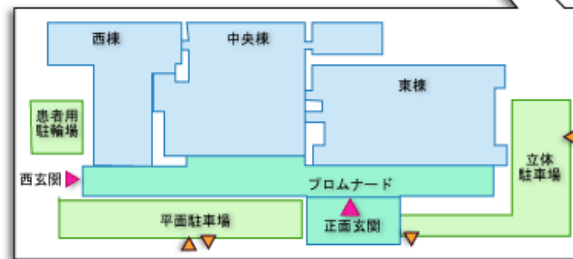
- バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

- 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

- 広島空港→バスセンターまでバスで約 50 分位



地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

外科

のご案内

基幹型・外科領域

当院は、基幹型・外科専門研修プログラムの基幹施設です。

	基幹型専門研修プログラム名等	期間
基幹施設	広島市民病院群外科専門研修プログラム	3 年
連携施設	庄原赤十字病院・広島市立舟入市民病院 広島通信病院・川崎医科大学付属病院	

20200601



最高の仲間と、最高の場所で、最高の研修を！

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会) 担当:有馬・長谷川・児玉

e-mail : hiro-kensyu@hcho.jp



地方独立行政法人 広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

外科専門研修希望の方へ



副院長 塩崎滋弘

当院はがん診療連携拠点病院として悪性疾患の診断、治療など高度ながん医療とER型救急を目指した救急医療を大きな柱として医療に取り組んでいます。外科プログラムでは一般外科のみならず呼吸器、乳腺、心臓血管、小児、救急など広く外科疾患に対する知識、技量に加え医師としての人格を兼ね備えることを目標としています。

日々の診療に加え、術前・術後カンファレンス、学会・研究会の参加など忙しい毎日ですが外科医のスタートとしてはこれ以上ない環境です。熱意のある外科を目指す方、当院でいっしょに頑張りましょう。



外科主任部長 井谷史嗣

当科の特色はがん医療と救急医療の両方を修練できるという点です。がん診療連携拠点病院として全国第十数位のがん患者治療症例数を持ち、食道、胃、大腸、肝胆膵と分化した各臓器グループとも本邦最高峰の医療を目指しています。内視鏡手術など低侵襲手術を積極的に進めており、患者さんの様々な病態に応じたテーラーメイドな外科治療をチーム医療で行っています。またER型救急外来を通じた救急医療の症例も多く、診断や治療の面で研修医の良い研修の場となっています。緊急手術では、がん医療で培った精緻な解剖の知識やデバイスの使い方が活かされています。がんにも救急にも強い外科医になりたい人を待っています。

外科専門研修プログラム

当院は新専門医制度の外科専門研修基幹施設(広島市民病院群外科専門研修プログラム)です。また広島大学・岡山大学・鳥取大学・川崎医科大学各大学病院の外科専門研修プログラムの連携施設となっています。出身や医局帰属の有無に関わらず様々な経路で外科専攻医の研修を受け入れています。

当院には外科専門医研修に必要な外科 5 領域(一般消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科・乳腺外科)が揃っており、診療実績はそれぞれ非常に高く、いずれもサブスペシャリティー専門医研修の修練施設で、5 診療科で計年間 3200 例を超える NCD (national clinical database)登録の手術症例があります。多くの手術症例の経験から後期研修で外科専門医取得に必須の手術経験が充分得られ皆さん外科専門医を取得しています。

研修目標

一般外科医として外科疾患の診断および治療に対する知識、技量に加え医師としての人格を兼ね備えることを目標とします。すなわち外科一般、救急医療について幅広く知識および技術を得るとともに、患者、家族および医師や他の医療スタッフから信頼される外科医となることを目指しています。

研修内容

外科後期研修では、多数の外科救急疾患や common disease の症例に対して研修医が診断・手術適応の決定し自ら執刀することを原則としてします。また知識・技術の習得度に併せて悪性腫瘍手術の術者も早期から行います。

外科には消化器外科(食道、胃、大腸、肝胆膵)の 4 つの臓器別診療グループがあります。それぞれのグループで指導医の指導のもと、特徴的な疾患の担当医となり診断、手術、術後管理を担当します。全体・グループ毎にカンファレンスがあり、診断・治療の過程、プレゼンテーションの方法を学びます。ローテーション後の期間は、各自が希望とする専門分野を選択し、各グループの指導医のもと、主治医として診断および治療計画を立て治療を実践します。また経験症例、執刀例を定期的集積し、全研修医が確実に外科専門医取得に必要な経験症例数へ到達できるシステムを構築しています。

外科専門医研修ローテーション例

1年次		7月		10月		1月	
4月	消化器外科 (食道・胃)	消化器外科 (大腸)	呼吸器外科	乳腺外科	麻酔		
2年次		7月		10月		1月	
4月	小児外科	心臓血管外科	救急部 (ER)	消化器外科 (肝胆膵)	連携施設A (消化器外科、救急)		
3年次		7月		10月		1月	
4月	連携施設B(消化器外科、小児外科)	希望選択(サブスペシャリティーなど)	希望選択(サブスペシャリティーなど)	希望選択(サブスペシャリティーなど)			

志望のサブスペシャリティーに合わせて各臓器別診療科の研修期間の調整可能

研修成果の例

2012年3月外科後期研修修了者 (研修期間 2009.4~2012.3)

	術者総数	胃癌	大腸癌	胆摘	虫垂ヘルニア	その他	乳腺	呼吸器
A医師	154	14	10	32	34	27	27	10
B医師	130	8	6	26	35	22	29	4

発表	国際学会	全国	地方会	論文
A医師	2	6	6	2
B医師	0	4	2	1

概要

医師数	スタッフ 16名・後期研修医 8名
病床数	75床
外来患者数	74.5名/日
診療グループ	食道・胃・大腸・肝胆膵・一般外科 ほか乳腺外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科と連携
主な疾患の年間手術件数(2018年)	胃癌 199例・大腸癌 246例・食道癌 28例・肝胆膵領域 110例 胆嚢摘出 167例・虫垂炎 106例・イレウス・59例・ヘルニア 75例・腹膜炎 41例、その他 189例 全外科手術 1220例

～ 外科 スタッフ一同 ～

